

●りん翅目害虫に優れた効果

ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガなど大型チョウ害虫を優れた効果で長期間抑制します。

●ミカンキイロアザミウマに優れた効果

幼虫主体の発生初期に散布する事で、長期間密度を抑制します。

●ハチ・天敵への影響が少ない

散布翌日にはハチを導入できます(安全日数1日)。

オンシツツヤコバチ、チリカブリダニなど天敵に影響が少ない殺虫剤です。

適用病害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ルフェエロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ハマキムシ類 キンモンボソガ	2000	200~700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	2000~3000	100~300	前まで	2回以内		2回以内
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ	3000	200~3000	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
はくさい	ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ						
レタス	オオタバコガ	2000	100~300	収穫3日前まで	4回以内		4回以内
だいこん	コナガ アオムシ	3000		収穫14日前まで			
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	2000		収穫7日前まで			
ねぎ※	シロイチモジヨトウ			2000			
わけぎ	オオタバコガ	2000~3000	100~300	収穫21日前まで	4回以内		4回以内
なす							
トマト	ハスモンヨトウ	3000	2000~3000	収穫前日まで	2回以内	2回以内	
	ミカンキイロアザミウマ	1000~2000					
	トマトサビダニ	2000					
ミニトマト	ハスモンヨトウ	3000	2000~3000	収穫前日まで	2回以内	2回以内	
	ミカンキイロアザミウマ	1000~2000					
ピーマン※	オオタバコガ	2000	1000~2000	収穫前日まで	4回以内	4回以内	
	ウリノメイガ						
きゅうり	コナジラミ類	2000	1000~2000	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	ウリノメイガ						
いちご	ミカンキイロアザミウマ	1000~2000	100~150	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	
	ハスモンヨトウ						
てんさい	アシクロハモグリハエ	3000	100~150	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
	ヨトウムシ	750					
だいず	シロオビノメイガ	3000	100~150	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	
	ハスモンヨトウ						
みかん	チャノキイロアザミウマ	2000~3000	200~400	摘採7日前まで	3回以内	3回以内	
	ミカンハモグリガ						
かんきつ(みかんを除く)	ミカンサビダニ	2000~3000	200~400	摘採7日前まで	3回以内	3回以内	
	アゲハ類						
茶	ヨモギエダシヤク	2000~3000	200~400	摘採7日前まで	1回	1回	
	チャハマキ						
きく	チャノココクモンハマキ	1000	100~300	発生初期	5回以内	5回以内	
	ヨモギエダシヤク						
花き類・観葉植物(きくを除く)	チャノキイロアザミウマ	2000	100~300	発生初期	5回以内	5回以内	
	マメハモグリハエ						
	ハスモンヨトウ						

※2014年1月31日現在 あさつき・とうがらし類には登録がありません。

上手な使い方

- 害虫の発生初期に予防的に散布してください。
- 浸透移行性がないので、かけムラのないようにていねいに散布してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

使用上の注意事項

- ・本剤は幼虫の脱皮を阻害してやがて死亡させる性質をもつ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布してください。
- ・本剤は植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- ・アザミウマ類に使用する場合は、成虫に対しては効果がないので、幼虫主体のときに散布してください。
- ・本剤の連続散布は、本剤に対するコナガの抵抗性を発達させるおそれがあるので、作用性の異なる他の薬剤との輪番で使用してください。
- ・トマトサビダニに対しては、成虫には効果がないため発生初期に使用してください。被害が目立ってから防除では他剤との併用を心がけてください。
- ・てんさいに対して希釈倍率750倍(使用液量25L/10a)で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- ・茶でルフェエロンを含む農薬を使用した場合は、同一茶期内では本剤を使用はしないでください。
- ・散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- ・蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ・散布液の調製容器、散布器具などは水でよく洗浄し、その洗浄液は灌漑水路、排水路、河川、湖沼、井戸などの水系へ流さず、当該液を処理した場所での作物の安全を確認の上始末してください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ・適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ・原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ・原液は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ・散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ・作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- ・かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- ・水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ・使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。
- ・危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意してください。
- ・火気を避け、直射日光の当たらないなるべく低温場所に密栓し、食品と区別して保管してください。



IPM適合殺虫剤

# 問題害虫をしっかりと防除

マッチ一本、いかがですか。



オオタバコガ



ハスモンヨトウ



ミカンキロアザミマ



ヨトウムシ



シロイモシヨトウ



トマトサビダニ



コナジラミ類



ウリノメイガ

 マッチ<sup>®</sup>  
乳剤

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

® はシンジェンタ社の登録商標  
TM はシンジェンタ社の商標

TM